

★★★★★★ 論文賞 ★★★★★★★

おかやま山陽高等学校
小野 穂実

私は現在高校の自動車科に所属していますが、一二人中たった一人の女子です。私の将来の夢は、誰もが安全で安心して乗れる乗り物をデザインし整備できる人になる事です。

私が四歳の時、十一歳と七歳の二人の姉と私を置いて突然母がいなくなりました。父はその事は何も言わず、私達も何も尋ねようとはしませんでした。しかし、その日から父が男手一つで私達を育ててくれています。家族の笑顔の為に家事や子育てをしながら仕事に励む父ですが、JTRの運転士である父が電車を運転する姿はとても誇らしく、私の自慢の父です。また家では家族の為に家具や棚を一つ一つ作ったり、壊れた物を直してくれる姿を見て育った私は、次第にものづくりが大好きになっていきました。

高校進学を決める時、私は自動車整備士の国家資格が取れる高校に進学を希望しましたが、父は「男社会でやっていける訳がない」「私立は学費が掛かるから駄目だ」と言い、社会の考え方と父子家庭の厳しさを言われ反対されました。しかし何度も父と話し合った結果、父は「お前の夢のためなら」と進学を許してくれたのです。

今、自動車保有台数が八千万台を超える日本で、誰もが安全で安心して乗れる乗り物をデザインし、整備できる仕事に就きたいと思っています。今の私に出来る事は、仕事をしながら家事や私達の世話をする父を少しでも助ける為に、勉強や部活動、アルバイトを頑張りながら、洗濯や掃除など私にできる家事を一生懸命にする事です。そして、なりたい自分への夢を諦めずに、女性だからこそその気遣いを忘れず、皆から喜ばれる整備士を目指し、これからの高齢社会の中でも安心して安全な車を楽しんでもらえる仕事を目指して大いに進学し、自分を磨きたいのです。

なりたい自分になるために今できること。それは、いつも前向きに夢を描いて、皆が楽しんで安心して暮らせるものづくりができる人間を目指して、優しい気持ちで頑張る事だと思っています。